

「仕事」について考える

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今月は「仕事」について考えたいと思います。

前職の会社の人事異動を見ました。同年代の人間が、「部長」という管理職になり始めました。「自分がいたら、どうなっていたのかなあ」と考えながら、退職の時を思い



代表取締役社長 吉田治伸

出しました。13年お世話になった中京テレビでしたが、退職時に急に心配になったのは、「自分を惜しんでくれるのだろうか？」です。随分一生懸命仕事をしたつもりでしたが、思い出すのは、独りよがり自分勝手な行動ばかりです。ドキドキして退職日を待っているといろいろな部署の方に送別会を開いていただきました。制作部や報道部からは各番組の段ボール1箱のグッズが送別の品として届きました。うれしかった。そして、その時思った事は、13年間で得た事は、給料をもらえた事だけでなく、知り合えて友情を培われた多くの仲間といろいろなスキルだ、という事です。

私は、現場の面接の時いつも言うセリフがあります。

「私たちの仕事は、頑張っても頑張らなくても給料は少ししか変わらないかもしれませんが、でもね、確実に違ってくるものがあります。それは、仲間との友情であり、身につけたスキルです。私たちの現場にはすばらしい仲間とすばらしいお客様、ユーザーさんたちがいます。私たちの仕事は社会的貢献度の高いすばらしい仕事です。その仕事を通じて得られた「出会い」「友情」「成長」は何物にもかえがたいものですよ。退職する時、皆から「ありがとう」と言われる「仕事」を心がけてくださいね。」

毎日、自分を大切に「仕事」してみませんか？